

理事長賞

水を守るためには

西坂 明希

小郡市立三国小学校

浄化センターを見学して、自然と健康を守るために、よごれた水をきれいにしないといけないことが分かりました。センターの方の話を聞いて、私のこれからのくらしを見直すこともできました。

下水道の役割は四つあります。一つ目は、汚れた水をきれいにすることです。水をきれいにしなければ、私達の生活は大変なことになります。家からでたきたないままの水では、川や海をよごすことになりました。二つ目は、雨でできた水たまりをなくし、清潔に住みやすい町にしてくれます。水たまりをなくせば、人や車が通りやすくなるし、菌などが発生することもあります。三つ目は、川や海、湖などの自然を守ります。川や海、湖などが汚れた水で魚達など生き物が住みにくくならないようにしています。四つ目は、大雨による浸水を防ぎ、町を守ります。浸水を防げなければ、洪水になり、町の人々の生活は、困ってしまいます。雨水をすばやく流す、下水管施設は大切なものです。このように下水道は、四つの役割を果たしています。

そこで、下水処理の仕組みやしせつの働きを紹介します。下水処理場は、汚水を集めてきれいな水にする下水道施設の心臓部です。まず、汚水中の大きなゴミや土砂を沈めてとり除きます。次に、汚水をゆるやかに流して小さなゴミや泥を沈めます。次に、汚水に微生物の入った活性汚泥を混ぜ、空気を吹き込んで、よごれを沈みやすくします。さらに、反応タンクで大きなかたまりになった泥を沈め、上ずみ

を流します。

最後に処理した水が川や海に流せるかどうかを検査し、消毒をして川に流します。みなさんがふだんの生活でよごれた水は、このようにきれいになって地球にもどってきます。

ところで、水は雨となって森林にふりそそぎ、川に流れ、ダムで使う水の量を調整します。そこから、浄水場に送られ、わたしたちの飲み水になります。ためた水は、発電にも使われることにおどろきました。

水源の森を守ることは、生活に欠かせない水を守ることになりました。下水処理施設で、よごれた水をきれいにして川に流すと、やがて海に流れまた雨となって森林にふり注ぎます。

このように、水はじゅんかんして私達の毎日の生活に役立っています。その大切な水を守るために、私も全力で協力したいと思います。油や野菜のくずを下水に流さないように注意します。水を出しっぱなしにしない、洗たくをまとめて回数をへらす、ふろの残りの湯を利用して、使う水の量を少なくしようと思います。小さなことから、私達のできることを行うことが、水を守り生活を守ることだと思います。